

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● E-mail: ga-tpc@ginza.co.jp

● このNEWSLETTERは、銀座通連合会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています ●

1月21日、2月2日と2回にわたって行われた中間報告会には、のべ210名の方がいらっしゃいました。そのうち、銀座の住所の方は約150名です。ことに2月2日の会では、1回ごとに少人数の集まりだったこともあり、ほとんど全員が発言する、熱気あふれる会となりました。

小林博人さんは2月2日の午前10時半から夜の10時過ぎまで、6回にわたり丁寧に説明しひとつひとつの質問に答えてくださいました。アンケートとご意見の一部を以下にかんたんにまとめます。



「銀座街づくり会議」::中間報告会

銀座にふさわしい空間とは？ 考えよう。21世紀・銀座のまちづくり



第5回

中間報告会 —みなさんからの意見—

銀座の総意を

つくりあげてゆくためには？

2日にわたる報告会を終えて、銀座街づくり会議の活動が、ようやくみなさんに少しずつ浸透しはじめたのではないかという感触です。今回の中間報告会では、地区計画・「銀座ルール」をより理解し、共有することが目的でしたが、みなさんからもその内容について、またその拘束力や都市再生法との関係についてもっと知りたいという質問が相次ぎました。その結果「よく理解できた」と言ってくださる方が多かったのですが、反面「内容が専門的・研究的すぎる」という意見もありました。

街づくり会議の運営主体をはっきりしてほしい、もっとリーダーシップを発揮してほしい、という意見もありました。これは銀座のみなさんから出るさまざまな意見を街づくり会議がどうとりまとめ、銀座の総意としてゆけばいいのかという問題につながります。銀座街づくり会議の意志を、銀座全体の意志として表明してゆくためには、活発な意見交換と、情報が共有されるしくみが必要です。

松坂屋問題への懸念

現在大きな問題となっている松坂屋再開発については、やはり大きな関心が寄せられました。多くの方がさまざまな角度から高層ビルに対する懸念や心配、反対意見を口にしましたが、「それをエモーショナルな問題としてではなく、論理的な意見として組み立て、銀座の総意としてつくりあげてゆくことが重要」との指摘がありました。そして「それをいかに松坂屋に伝えてゆくのか」。感情論ではなく具体的に、「銀座にふさわしい開発をともに考えられる場が重要」であると考えられます。

街づくり会議への期待

屋上看板、置き看板、広告物の音や色、違法駐車や駐輪植栽や休憩場所の問題、バリアフリー等々、これから銀座街づくり会議に取り組んでほしいというテーマも多々出されました。また、一言で銀座といっても、通りごと地域ごとに特徴があります。商業とオフィスの違い、商業のなかでも業態の違い、さまざまな立場や事情があります。そういったことにも配慮したうえで、全銀座をとらえてゆかなくてはなりません。建築のことも重要だが、商業マネジメントの視点も重要という意見もありました。

これからも意見交換の場をもってゆきたいと思います。また各町会や通り会の集まりに出かけてゆきますので、声をかけてください。お待ちしております。

中間報告会のまとめ、アンケートやみなさんのご意見をくわしくまとめたものは現在作成中です。



10月シンポジウムの議事録完成

● 昨年のプロムナード銀座2004シンポジウムのテープおこし冊子ができあがっています。
● 1冊300円でおわけしています。

● 10月21日「世界都市のなかの銀座」

● 10月23日「どう描く？銀座の将来像
—都市再生とは何だろう—」

● また、この2つのシンポジウムのビデオもお貸し出ししております。

● お問い合わせは銀座街づくり会議まで。